

2025 MFJ 国内競技規則 JSB1000・ST1000・ST600 クラス技術規則改訂について

2025 年度 MFJ 国内競技規則「付則 8 JSB1000 技術仕様」と「付則 9 ST1000 技術仕様」・「付則 10 ST600 技術規則」のボディワーク（ウィンドスクリーン）に関する規則を改訂いたします。

規則の施行は即時適用となります。

(1) 付則 8 JSB1000 技術規則 規則改訂

【対象規則】：7-12 ボディワーク（フェアリング、ウィンドスクリーン、フェンダー、エアダクト）7-12-2 項

【改訂内容】：語句を追加

改訂前	改訂後
7-12-2 ウィンドスクリーンの形状は自由とする。ただし、スクリーン本体は一体型のものでなければならない（スクリーンが2ピース以上で構成されていないこと）。スクリーンの垂直方向への高さの変更は認められる。	7-12-2 ウィンドスクリーンの形状は自由とする。ただし、スクリーン本体は一体型のものでなければならない（スクリーンが2ピース以上で構成されていないこと）。スクリーンの垂直方向への高さの変更は認められる。 <u>スクリーンエッジには丸みをもたせていなければならない。</u>

(2) 付則 9 ST1000 技術規則・付則 10 ST600 技術規則 規則改訂

【対象規則】：ST1000 7-3-12-1-1 ST600 7-3-12-1-1

【改訂内容】：JSB1000 技術規則 7-12-2 項の規則内容に改定

改訂前	改訂後
ST1000 7-3-12-1-1 ウィンドスクリーンの形状と材質は変更できるが、高さ方向の寸法変化は公認車両のスクリーン取り付け状態からステムアッパーブラケット（トップブリッジ）上面を基準にして±15mm以内の高さ変化であること。スクリーンエッジには丸みをもたせていなければならない。	ST1000 7-3-12-1-1 / ST600 7-3-12-1-1 <u>ウィンドスクリーンの形状は自由とする。ただし、スクリーン本体は一体型のものでなければならない（スクリーンが2ピース以上で構成されていないこと）。</u> <u>スクリーンの垂直方向への高さの変更は認められる。</u> <u>スクリーンエッジには丸みをもたせていなければならない。</u>
ST600 7-3-12-1-1 スクリーンエッジは丸みをもたせていなければならない。	

2025 MFJ 国内競技規則「ロードレース」 規則改訂について

2025 年度 MFJ 国内競技規則「付則 3 サーキット走行に関する規則」と「付則 5 全日本ロードレース選手権大会特別規則」について規則を改訂いたします。規則の施行は即時適用となります。

(1) 付則 3 サーキット走行に関する規則 規則改訂

【対象規則】：4-2-1

【改訂内容】：「突起物の」の語句を削除。

改訂前	改訂後
4-2-1 ヘルメットはロードレース用 MFJ 公認ヘルメットを使用すること。ヘルメットおよび装備品へのウェアラブルカメラ等の <u>突起物</u> の装着は禁止される。	4-2-1 ヘルメットはロードレース用 MFJ 公認ヘルメットを使用すること。ヘルメットおよび装備品へのウェアラブルカメラ等の装着は禁止される。

(2) 付則 5 全日本ロードレース選手権大会特別規則 規則改訂

【対象規則】：3-5-1-3 特別参加枠の基準 参加条件

【改訂内容】：①優先順位 1 に記載された西暦の誤記訂正（2026 年⇒2025 年）。

②優先順位 2 の対象サーキットに、岡山国際を追加。

改訂前	改訂後
3-5-1-3 特別参加枠の基準 参加条件：以下の 2 条件を基準に選抜を行なう。 優先順位 1 出場を希望するサーキット（大会）の設定基準タイム（ <u>2026</u> 年は全日本選手権 J-GP3 クラスのコースレコードの 105%）以内で走行した公式記録※（地方選手権の予選または決勝リザルト）を提示可能なライダー。 優先順位 2 筑波、鈴鹿（フルコース）、もてぎ（フルコース）のコースレコード 105%以内の実績者は、他大会の参戦申請することができる。（地方選手権の予選または決勝リザルト）を提示可能なライダー。 優先順位は、優先順位 1 を優先し、空きの参戦枠が生じた場合、優先順位 2 を採択する。	3-5-1-3 特別参加枠の基準 参加条件：以下の 2 条件を基準に選抜を行なう。 優先順位 1 出場を希望するサーキット（大会）の設定基準タイム（ <u>2025</u> 年は全日本選手権 J-GP3 クラスのコースレコードの 105%）以内で走行した公式記録※（地方選手権の予選または決勝リザルト）を提示可能なライダー。 優先順位 2 筑波、鈴鹿（フルコース）、もてぎ（フルコース）、 <u>岡山国際</u> のコースレコード 105%以内の実績者は、他大会の参戦申請することができる。（地方選手権の予選または決勝リザルト）を提示可能なライダー。 優先順位は、優先順位 1 を優先し、空きの参戦枠が生じた場合、優先順位 2 を採択する。

2025 MFJ 国内競技規則「ロードレース」ブルテン No.3

一般財団法人日本モーターサイクリススポーツ協会
MFJ 技術委員会ST600 クラスの技術規則改定について

2025国内競技規則書「付則10 ST600技術仕様」について規則追加を行います。
規則の施行は、即時適用となります。

1. CBR600RR レースベース車 (2024 年～) クランクセンサーの交換 (アッセンブリー)

該当規則 : 「付則 10 ST600 技術仕様 7-6-6-13 項」

内容 : 赤字部分の追加

7-6-6-13 部品の互換性特別申請

車 種 : CBR600RR レースベース車 2024 年～ JH2PC40S*MK970001～ (*は変数)
変更部品内容 : クランクセンサーの交換 (アッセンブリー)

部品名	品番
SENSOR ASSY,CRANK	37500-N1H -J00
BOLT,FLANGE S-NSHF 6X18	90028-N1H -J00
WASHER ,PLAIN	37501-N1H -J00
WASHER ,RUBBER	37502-N1H -J00
COLLAR,SENSOR	37503-N1H -J00

以上

一般財団法人日本モーターサイクリススポーツ協会
MFJ ロードレース委員会・MFJ セーフティ委員会

付則4 ロードレース競技規則 規則追加について

2025年度 MFJ 国内競技規則「付則4 ロードレース競技規則」について規則を追加いたします。規則の施行は即時適用となります。

10 ライダーの装備

- 10-1-6 MFJ公認競技会（国際格式）にFIMライセンスで参加する選手は、ヘルメットリムーバーの着用を免除する。ただし、ヘルメットはエマージェンシータブ機能を備えたヘルメットに限り認められる。
- ※エマージェンシータブとは、ヘルメットの顎部分に取り付けられた「タブ」を引くことにより、ヘルメット内部の顎部パッドが外れ、ヘルメットを脱がせやすいシステム機構である。

以上

ブルテン No.1「JSB1000・ST1000 クラスの技術規則の変更」に関する補足

令和7年2月12日にブルテン No.1を発行し、JSB1000・ST1000 クラスの技術規則を改定しましたが、現在 MFJ 公認車両として登録されている車両はそのまま当該クラスに参加可能であることを補足します。

令和7年2月12日

2025 MFJ 国内競技規則「ロードレース」ブルテンNo.1

一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会

JSB1000・ST1000 クラスの技術規則の変更について

国内競技規則書 「付則8 JSB1000技術仕様 1 出場車両および付則9 ST1000技術仕様 1 出場車両」について下記規則の改定を行います。規則の施行は、即時適応とします。

1. JSB1000 クラス

適用規則：付則8 JSB1000 技術仕様 序文、1 改定内容：赤字部分の追加 訂正線 語句削除

序文

本規則はFIMスーパープロダクション規則をベースに国内ロードレース用に一部追加、変更を加えた規則である。世界耐久選手権レース（EWCクラス）に出場する場合はFIM規則が適用される。

本規則はFIM~~および~~MFJが公認した~~公道用~~一般市販車をベースに、安全性、平等性、経済性を考慮しつつ、かつハイ レベルのレースを基本理念とする。・・・以下 省略

1 出場車両

一般生産型モーターサイクルで、FIM ~~SBK~~~~および~~MFJ公認車両でなければならない。

~~地方選手権においては、MFJ公認車両でなければならない。~~

また、JSB1000特別申請車両として以下車両がJSB1000クラスに参加することが許可される。

車両技術仕様は、第8項が優先し適用される。・・・以下省略

2. ST1000 クラス

適用規則：付則9 ST1000 技術仕様 序文、1 改定内容：赤字部分の追加 訂正線 語句削除

序文

本規則はFIM~~および~~MFJが公認した~~公道用~~一般市販車をベースに、安全性、平等性、経済性を考慮し、最小限の改造とコストで参加できる、参加型レースを基本理念とする。・・・以下 省略

1 出場車両

一般生産型モーターサイクルで、~~国産車両一般市販価格3,300,000円（税抜価格3,000,000円）、または外国産車両一般市販価格3,850,000円（税抜価格3,500,000円）以下の~~FIM ~~SST~~ ~~および~~ MFJ 公認車両でなければならない。

なお、ST1000 クラスに特別申請車両として以下の車両が参加することが許可される。・・・以下省略

この規則改定は、FIM 規則との整合性をとるために行う。

2025 MFJ 国内競技規則「ロードレース」ブルテンNo.1

一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会
MFJ ロードレース委員会

JSB1000・ST1000 クラスの技術規則の変更について

国内競技規則書 「付則8 JSB1000技術仕様 1 出場車両および付則9 ST1000技術仕様 1 出場車両」
について下記規則の改定を行います。規則の施行は、即時適応とします。

1. JSB1000 クラス

適用規則：付則8 JSB1000 技術仕様 序文、1 改定内容：赤字部分の追加 訂正線 語句削除

序文

本規則はFIMスーパープロダクション規則をベースに国内ロードレース用に一部追加、変更を加えた規則である。世界耐久選手権レース（EWCクラス）に出場する場合はFIM規則が適用される。

本規則はFIMおよびまたはMFJが公認した公道用一般市販車をベースに、安全性、平等性、経済性を考慮しつつ、かつハイレベルのレースを基本理念とする。・・・以下 省略

1 出場車両

一般生産型モーターサイクルで、FIM SBKおよびまたはMFJ公認車両でなければならない。

~~地方選手権においては、MFJ公認車両でなければならない。~~

また、JSB1000特別申請車両として以下車両がJSB1000クラスに参加することが許可される。

車両技術仕様は、第8項が優先し適用される。・・・以下省略

2. ST1000 クラス

適用規則：付則9 ST1000 技術仕様 序文、1 改定内容：赤字部分の追加 訂正線 語句削除

序文

本規則はFIMおよびMFJが公認した公道用一般市販車をベースに、安全性、平等性、経済性を考慮し、最小限の改造とコストで参加できる、参加型レースを基本理念とする。・・・以下 省略

1 出場車両

一般生産型モーターサイクルで、~~国産車両一般市販価格3,300,000円（税抜価格3,000,000円）、または外国産車両一般市販価格3,850,000円（税抜価格3,500,000円）以下のFIM SST および MFJ 公認車両で~~なければならない。

なお、ST1000 クラスに特別申請車両として以下の車両が参加することが許可される。・・・以下省略

この規則改定は、FIM 規則との整合性をとるために行う。